⚠警告 **安全のために**

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

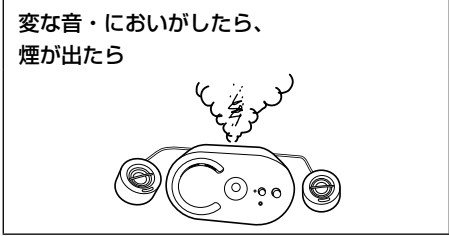
定期的に点検する

1年に1度は、電源コードのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電源コードをコンセントから抜く
❸ ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

ぬれた手で電源コードをさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本体や電源コードを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CD、DATやデジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

禁止

長時間使用しないときは電源コードを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源コードを抜く

電源コードを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

SONY

4-111-175-**02** (1)

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRS-D25

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：
家庭用電源コンセント（AC100 V）につないでお使いください。

電源コードについて：
電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。

留守にするときは：
本機のPOWERボタンをOFFにしただけでは、電源は完全に切れていません。
ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

異物について：
特に、ジャックには異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら：
万一、異常や不具合が起きたときや異物が中に入ったときは、すぐに電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 次のような場所は避けてください。
  — 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
  — 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  — 風呂場など、湿気の多い所。
  — ほこりの多い所、砂地の上。
  — 時計、キャッシュカードなどの近く。（防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。）
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。

モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型（JEITA*）のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起こる場合があります。

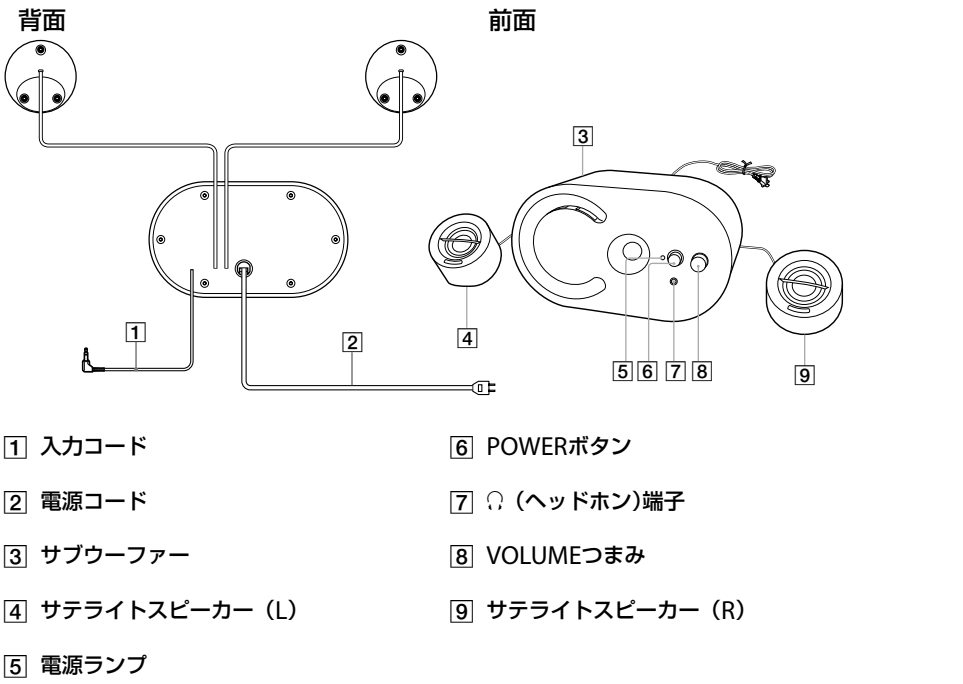
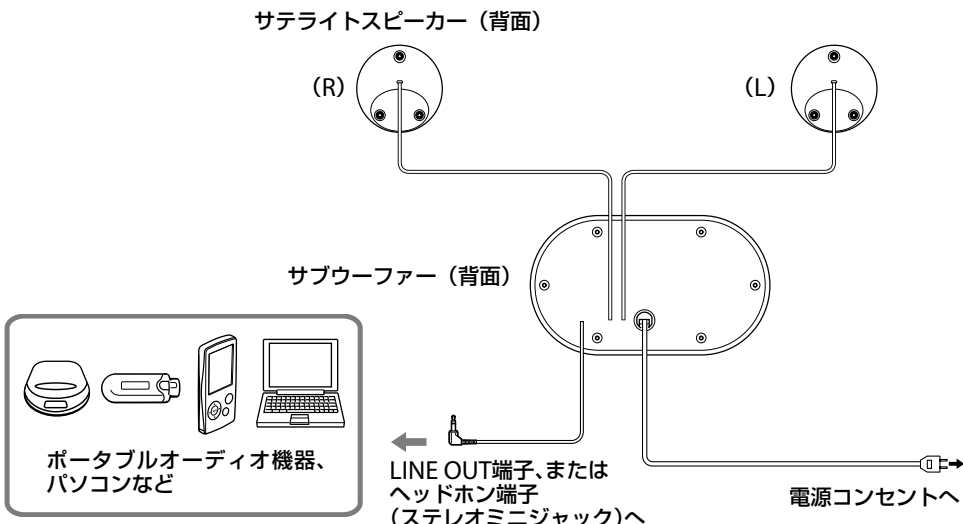
色むらが起きたら
いったんモニターの電源を切り、15〜30分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは
スピーカーをさらにモニターから離してください。

さらに
スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物
ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

各部のなまえ

1 入力コード
2 電源コード
3 サブウーファー
4 サテライトスピーカー（L）
5 電源ランプ
6 POWERボタン
7 ∩（ヘッドホン）端子
8 VOLUMEつまみ
9 サテライトスピーカー（R）

接続する

1 入力コードを、お聞きになる機器につなぐ

2 サブウーファーの電源プラグを家庭用電源コンセントにつなぐ

右スピーカーから音が出ないときは
モノラルジャックに接続したときは、左スピーカーからしか音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプター PC-236MSを使うと左右のスピーカーから音が出ます。

標準タイプのヘッドホンジャック（カセットデッキなど）に接続するには
別売りのプラグアダプター PC-234S、または接続コードRK-G138をお使いください。

使いかた

突然大きな音が出て耳を痛めないように、本機のVOLUMEつまみでスピーカーの音量を最小にしてください。また、接続した機器の音量も下げておきます。

1 POWERボタンを押して電源を入れる。
電源ランプが点灯します。

2 接続した機器を再生する。

3 音量を調整する。
接続した機器を適度な音量にして、本機のVOLUMEつまみで調整します。

4 使用後はPOWERボタンを押して、電源を切る。
電源ランプが消灯します。

ヘッドホンやイヤホンを使うときは
ヘッドホンやイヤホンを、サブウーファーの∩（ヘッドホン）端子につないでください。

ご注意
- 接続する機器のバスブースト機能やイコライザー機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっていると、音がひずむことがあります。
- ヘッドホンジャックがLINE OUT端子を兼用している機器に接続した場合は、接続機器の出力をLINE OUT出力に設定することで、より高音質でお楽しみいただけます。出力設定の操作について詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

主な仕様

スピーカー部

サテライトスピーカー
型式　フルレンジバスレフ型
　防磁型（JEITA*）
使用スピーカー
　直径38 mm
インピーダンス
　4 Ω
定格入力　5 W
最大入力　10 W

サブウーファー
型式　フルレンジバスレフ型
　防磁型（JEITA*）
使用スピーカー
　直径67 mm
インピーダンス
　4 Ω
定格入力　15 W
最大入力　30 W

アンプ部

実効出力　5 W + 5 W（全高調波歪10%、1 kHz、4 Ω）（サテライトスピーカー）
　15 W（全高調波歪10%、100 kHz、4 Ω）（サブウーファー）（JEITA*）
入力　ステレオミニプラグ付き入力コード（約1 m）× 1
入力インピーダンス
　7 kΩ（1 kHz）
出力　ステレオミニジャック× 1
　（PHONES）

その他

消費電力　20 W
最大外形寸法　約65 × 65 × 67.5 mm
　（サテライトスピーカー）
　約208 × 118 × 130 mm
　（サブウーファー）（幅／高さ／奥行き）
質量　約 90 g（サテライトスピーカー）
　約 2 kg（サブウーファー）
コードの長さ　約 1 m（電源コード）
付属品　取扱説明書（1）
　保証書（1）
　ソニーご相談窓口のご案内（1）

別売りアクセサリー

プラグアダプター
PC-234S（ステレオ標準プラグ ←→ ステレオミニジャック）
PC-236MS（ミニプラグ ←→ ステレオミニジャック）
接続コード
RK-G138（ステレオ2ウェイプラグ ←→ ステレオミニジャック）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITAは（電子情報技術産業協会）の略称です。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
音が割れる、またはノイズが出る	入力信号が大きすぎる。	接続した機器の音量を下げる。
	接続した機器のバスブースト機能を使用している。	バスブースト機能を解除する。
	接続した機器のヘッドホンジャックに接続している。	接続した機器にLINE OUT端子がある時は、LINE OUT端子に接続する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	いったんはずして接続しなおす。
	テレビに近すぎる所に設置されている。	テレビから離して設置する。
音が小さい、または音が出ない	POWERボタンがOFFになっている。	POWERボタンをONにする。
	VOLUMEつまみが最小に絞られている。	VOLUMEつまみで調節する。
	入力コードがしっかり接続されていない。	いったんはずして接続しなおす。
	入力信号が小さすぎる。	ヘッドホンジャックに接続した場合は、接続した機器の音量を上げる。
	ヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンを抜く。
電源ランプがちらつく	音量を上げたときに電源ランプがちらつくことがありますが、故障ではありません。	

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ・・・・・・・・・・・・・0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話 ・・・・・・・・・・・・・0466-31-2511	フリーダイヤル ・・・・・・・・・・・・・0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話 ・・・・・・・・・・・・・0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「309」+「#」 を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1